

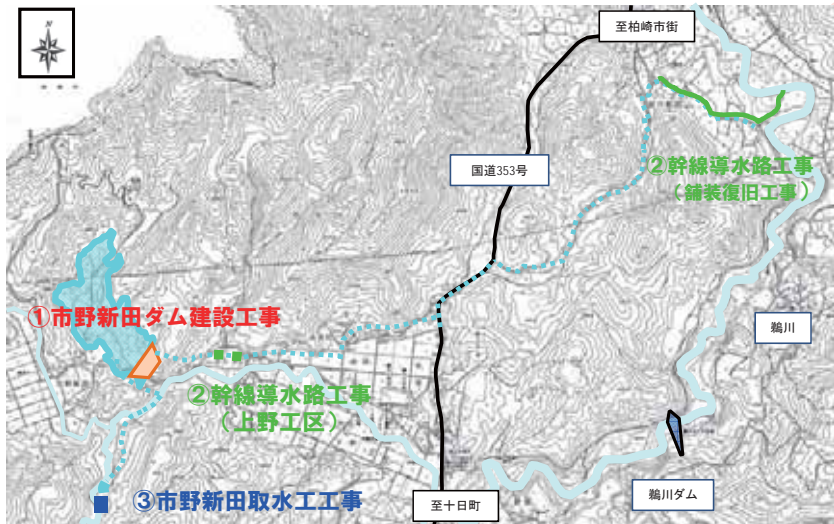
# 市野新田ダム工事の進捗状況

国営事業だより

水を繋ぎ、地域を興す

第30号

平成28年10月20日



## ①市野新田ダム建設工事

昨年9月から堤体下流側の盛立を開始し、今年8月からは上流部を含め、堤敷全面で盛立を行っています。今年後も盛立を進め、来年秋には完了する予定です。



またコンクリート工事についても、引き続き洪水吐工事、取水設備工事を行っています。

## ②幹線導水路工事

10月上旬より、市道21-132号線において幹線導水路の埋設工事を開始しました。施工中は、片側交互通行や騒音振動などで近隣にお住まいの皆様にはご迷惑をおかけしておりますが、安全に十分配慮しながら進めて参りますので何卒よろしくお願いたします。



## ③市野新田取水工工事

10月上旬より、市野新田取水工建設予定地において工事を開始しました。鵜川の中に取水工を建設するにあたり、まずは鵜川の水を仮廻しするための水路を作ります。今年中には鵜川の仮廻し水路を概ね完成させ、来年の春頃から鵜川の水を仮廻し水路に転流し、取水工本体の建設を進めていく予定です。



## 市野新田ダム「定礎式」のお知らせ

平成24年度から本格的に建設を進めている市野新田ダム建設工事も、関係各位の多大なご支援とご協力により順調に進捗し、ダム堤体の盛立工事も本格化しております。堤体盛立が本格化した時点で置いてダム本体工事の礎として礎石(北陸農政局長の揮毫)を堤体に据えて、ダムの安泰を祈願する行事として定礎式典を農林水産省ほか関係機関、来賓、地元関係者、工事関係者など総勢140名の出席予定のもと、11月3日(木)午前10時から柏崎市女谷地区の工事現場で挙げる運びとなっております。



榑ヶ原ダムの礎石 (柏崎市高柳町)

## 新潟産業大学とコラボ

7月28日(土)に新潟産業大学の1、2年生28名が後谷ダムを見学しました。ダムを見るのは初めての学生も多く、ダムの役割についてしっかりと学びました。また、7月27日には後谷ダム万灯会にも来場いただき、新潟産業大学の広報誌「ローカレッジ」に当日の様子が掲載される予定となっております。



事業所の前にコスモスが咲きました!

発行元  
北陸農政局柏崎周辺  
農業水利事業所  
柏崎市南半田18-15  
TEL:0257-24-5731  
ホームページ

柏崎 国営 検索

後谷ダムで「万灯会」を開催

8月27日(土)に、後谷ダムの堤体をロウソクの灯りでライトアップする「ひかり遊び万灯会」が開催されました。今年も近隣の小学生らが絵付けした瓶が並べられ、カラフルな灯りがダム堤体を彩りました。また、地元のコーラス教室によるコンサートや、出店、後谷ダムの紹介ビデオの上映などが企画され、多くの来場者が幻想的なひとときを過ごしました。



※なお、開催に際しては地元集落をはじめ、ボランティアの皆様、関係機関等から多大なご協力を賜りました。この場を借りて事務局より御礼申し上げます。

↓万灯会フォトコンテストの受賞作品は本誌裏面をご覧ください

## 綾子舞国指定40周年記念式典が開催

9月11日(日)に、市野新田ダム付近の柏崎市女谷地区において、国指定の重要無形民俗文化財「綾子舞」の現地公開と国指定40周年記念式典が執り行われました。当事業所も招待を受け、また海外も含めた市内外から多くの人が訪れ、演者と観客が一体となり息を合わせた古雅な芸能に感銘を受け、500年の歴史を堪能いたしました。



## 田んぼの学校 実りの収穫編

10月1日(土)に鵜川地域において、春に皆で植えたサツマイモと稲の収穫が行われました。収穫には家族42名が参加し、子どもたちは、大きなサツマイモに興奮したあと、黄金色に実った稲穂を手鎌で収穫し、はさかけを手伝いました。豊かな実りの秋を実感した一日となりました。





# 万灯会フォトコンテスト2016 結果発表



グランプリ

「地上の星」 坂田 辰栄 氏

国  
宮  
事  
業  
だ  
よ  
り

水を繋ぎ、地域を興す

特別号

平成28年  
10月20日



優秀賞 「ひとなつの思い出」 中西 大介 氏



優秀賞 「ハートと灯がひとつになって」 河津 宏志 氏



優秀賞 「ハートの調べ」 星 賢輔 氏

万灯会フォトコンテストへ多数の応募をいただき、ありがとうございました。厳正なる審査のもと、グランプリ1点、優秀賞3点が見事決定しました。

選定のポイントは「万灯会らしさ」。どの作品も、優しい灯り、人々のぬくもり、壮大なダム印象を与えてくれました。

受賞作品を含めた応募作品は、次年度のポスターや広報活動等に活用させていただきます。

